

2011年(平成23年)1月11日(火曜日)

「山道」連携と活用探る

道内5地区 3月札幌でサミット

江戸時代末期、南下政策を進めるロシアの脅威に備え、その動向を確実に伝達するため、江戸幕府が道内各地に整備した「山道」の活用について、民間団体や自治体関係者が意見を交換する「道内山道サミット」が3月12日、札幌市内で開かれる。山道を復元する動きがある中、道内初の試みて、関係者は山道ブームの到来に期待している。

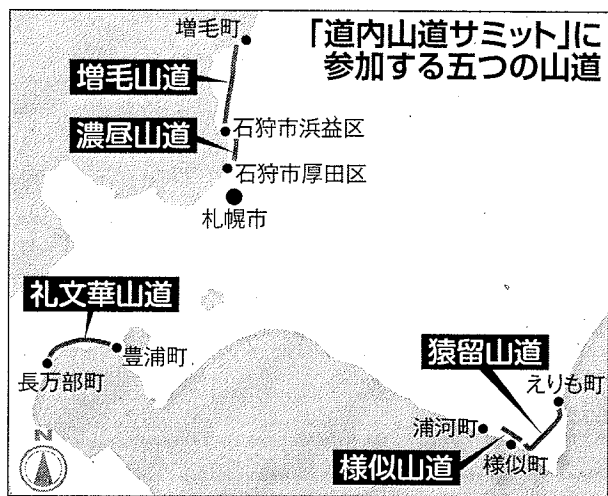
発起人は留萌管内増毛町と石狩市浜益区を結ぶ「増毛山道」の復元に10年以上携わるNPO法人増毛山道の会。道内の全27・8キロのうち

増毛側の11・2キロの伐採を終えたのを機に呼び掛けた。

参加するのは道内に存在した33の山道のうち、増毛、猿留(日高管内えりも町内、約30キロ)、様似(同管内様似町内、約7キロ)、礼文華(胆振管内豊浦町、渡島管内長万部町、約40キロ)、濃屋(石狩市厚田区内、約11キロ)の5山道の復元に取り組み関係者。いずれの山道も、散策コースなどとして活用されている。

サミットでは山道の歴史や観光振興の取り組みなど、これまでの

問い合わせは伊達会
長 ☎011・561・0608へ。



「道内山道サミット」に参加する五つの山道